

「縁」

前北中野中学校校長 関 年隆

私が初めて「中野区教育振興会」と関わらせていただいたのは平成26年度のことでした。（それまでも、中野区の子供に対する奨学金の給付や教員の研究団体である「中野区教育研究会」に助成金をいただいていることで中野区の教育に様々な形でお力添えをいただいている団体として名前は知っておりましたが、会の具体的な活動状況については良く理解しておりませんでした。）

その年の4月に中野区立中学校長の会の会長になり、会長の充て職である「評議員」として出席した「中野区教育振興会評議員会」が私と「中野区教育振興会」との実質的な出会いでした。

評議員会でどのような議題が話されたのかは残念ながらほとんど覚えてはいませんが、ただ一つ今でも印象に残っていることは「中野区検定の実施」について活発に議論がなされていたことです。当初はまさか自分がその「中野区検定」に関ることになるとは夢にも思わず、地域の活性化のために様々な活動をしている

団体なんだなあ。」という感想を持ちながら会議に参加しておりました。しかし、検定試験を始めるとなると、第1回の「中野区検定試験」で試験監督をさせていただきま

方法について学校の先生の協力を得たいという依頼を受け、それがご縁となり、第1回の「中野区検定試験」で試験監督をさせていただきました。試験監督をしながら「中野区検定ではどんな問題が出題されているのかな？」と興味津々で試験問題を見たところ、その問題の質の高さ（私にとっては難しさ）に驚いた覚えがあります。その後「中野区検定協力委員」として関わらせていただくことになり、昨年末に行われた第8回の中野区検定まで連続して試験監督を務めさせていただきました。

「中野区検定」はコロナ化で実施が危ぶまれた時期もありましたが、受けを希望される多くの方々に支えられ、今年度は第9回の検定試験を11月27日（日）に実施を予定しております。

「中野区検定協力委員」として携わる私たちは「継続は力なり」を旨として、「中野区検定」をより一層充実して参る所存ですので、今後も多くの方々の受検をお待ちしております。さて話は変わりますが、私は中学

校の技術科担当の教員として都立養護学校（現在の特別支援学校）、品川区、文京区、中野区の三つの区に勤務させていただきました。

二十代半ばから10年間勤務させていただいた品川区時代は全国的に中学校が荒れた時代でした。当時男子だけに授業していた技術科は、保健体育科と並んで授業規律を確立することが教科の基本であり、「男子だけの保健体育と技術の授業が成立しないと学校が潰れる」と言われた時代でした。

経験の浅い自分は、毎時間の指導計画や指導内容ばかりではなく、教材作成や授業の展開をどのようにすれば生徒が授業に意欲的に取り組むか？を試行錯誤する毎日でした。

文京区では教頭（現在の副校長）を務めさせていただきました。私は39年間教員をさせていただきましたが、その39年の中でも最も印象に残っている瞬間は、文京区立第一中学校に教頭として赴任し、教頭の席に座った時です。その時に見た職員室の風景と感じた緊張感と責任感は今でもはっきりと頭の中に残っています。

中野区では教員生活の最後の10年間を校長としてお世話になりました。教員は東京都の職員として採用され

ていますので、中野区で校長職をさせていただいたのは「中野区にご縁があった」ということに尽きるわけですが、その「ご縁」のおかげで生徒、先生方、保護者、地域の皆様を始めとする中野区の方々との出会いとお世話になり、たくさんの方の得がたい経験をすることが出来ました。

最近は教員を取り巻く環境も大きく変化し、教員志望の学生も減りつつあるという話を聞きさみしい思いをしています。確かに私が若かった頃より事務的な仕事量が増え、教員の仕事が忙しくなった面はあり、改善の余地はあると思います。ただ教員の仕事が「次代を担う人間を育成する」という大切な仕事であることは今も昔も変わりません。ぜひ、意欲を持った多くの方々に教職と縁を結んでほしいと思っています。

◎新規維持会員の紹介

- 加藤 拓磨 様
- 高木 千明 様
- 風岡 典之 様
- 関 年隆 様
- 中村 信子 様
- 望月 みさお様
- 加瀬 麗芳 様

ありがとうございました。